

Digital
Garage

Digital Garage

2002年 6月期決算説明会と会社説明会

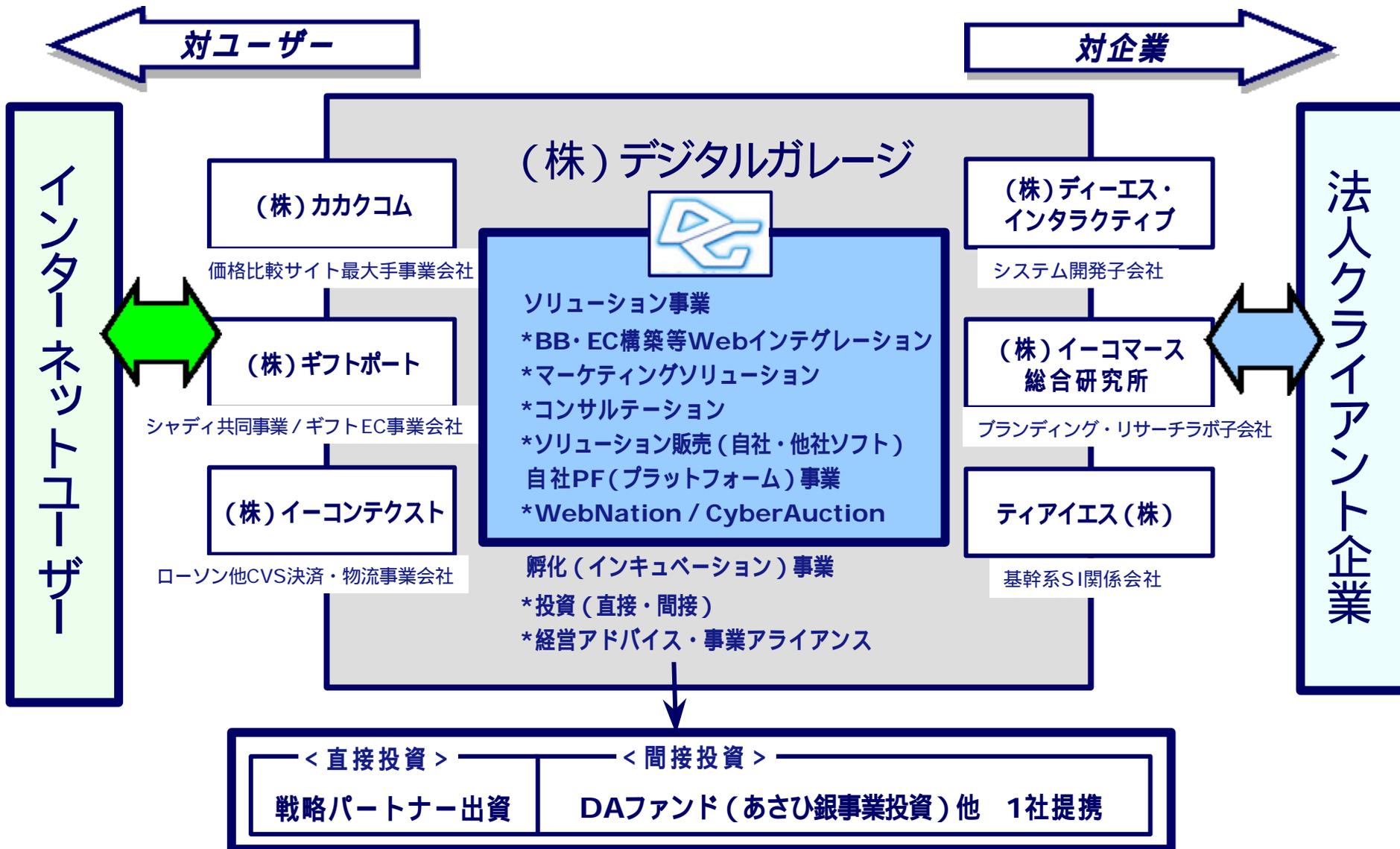
< 今期決算と来期事業計画に関して >

2002.08.28



株式会社デジタルガレージ

DGグループのストラクチャー(概要)



ZION (モバイルコンサル)
 ダイキサウンド (インディーズ大手)
 DAC (Nasdaq上場企業) 他



2002年6月期の主たる成果と施策



インターネットビジネス第2ステージに当たって

本格的なBB時代を迎えてのBBシステム構築事業への
本格的取り組みと大型案件の受注

PF(プラットフォーム)事業強化の戦略事業(株)カカクコム
の連結子会社化とグループ関連会社事業との連携開始

孵化(インキュベーション)事業の実績づくりと、
今後2年間で数社のIPOに向けての事業基盤を整備

ソリューション販売事業のラインナップ強化と
BB自社ソリューション  smoothy™ の市場投入

< 全体戦略 >

DG単体の利益重視から、DGグループ全体の利益重視へとシフト



今期決算の総括



2002年6月期の決算状況

3期連続の増収・増益と累損の一掃（単体） / 過去最高の売上・利益を達成

< 成果と課題 >

公開時の公約であった「早期の累損の一掃」の達成

対企業向けのアライアンス事業のCDN(コンテンツ・デリバリ・ネットワーク)は、
企業設備投資抑制の影響をまともに受けた 結果として、総売上高を下方修正
孵化(インキュベーション)事業により財務内容強化と当期利益の後押し

大手通信会社のBB大型案件や自社BBソフト  smoothy™ のセールス等で
BB構築ビジネスのしっかりした足場とノウハウを築けた

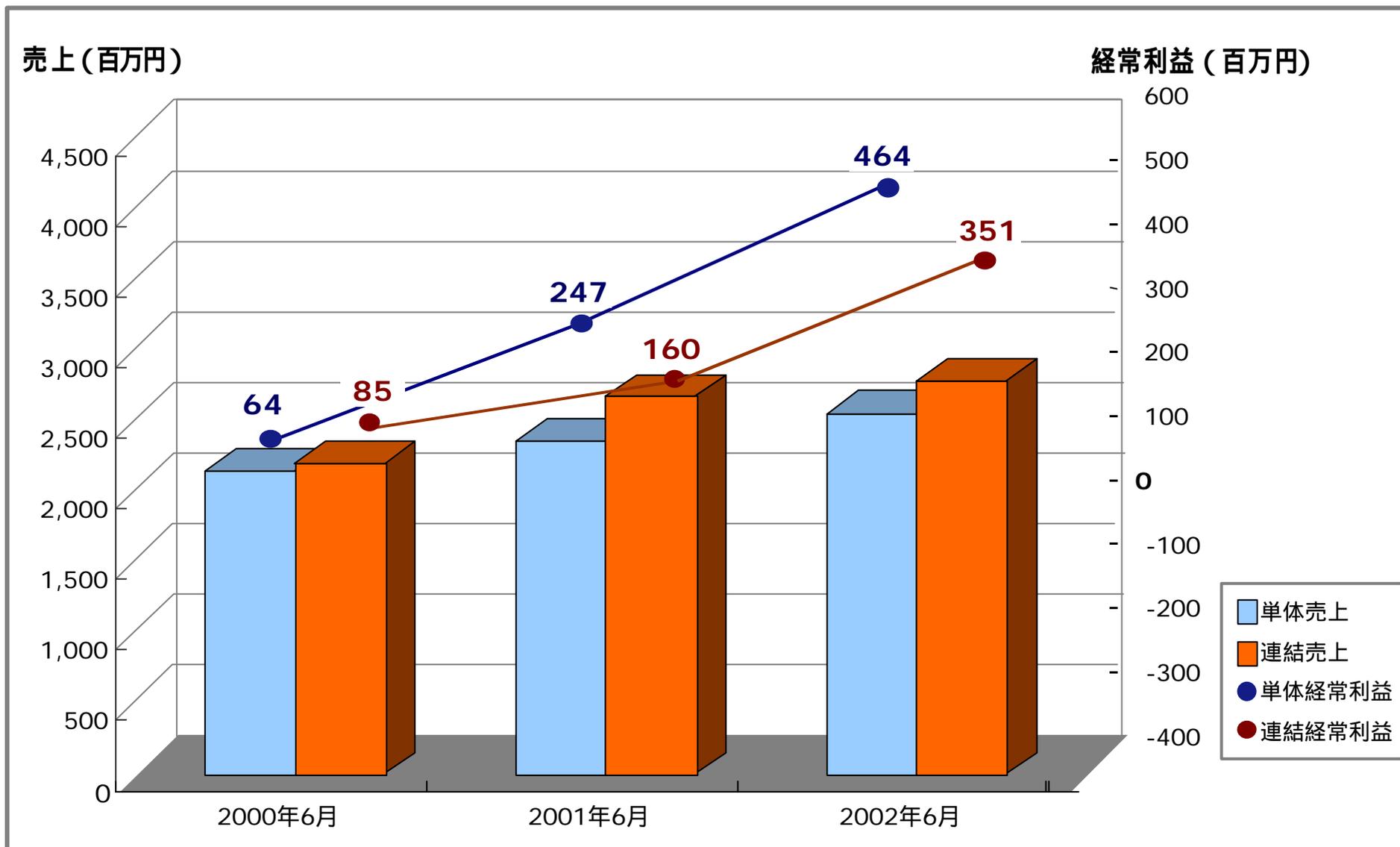
連結 / 単体決算の推移

(単位: 百万円)

区分	項目	2000年6月	2001年6月	2002年6月	対前期比
連結	売上高	2,197	2,669	2,783	104%
	経常利益	85	160	351	219%
	当期利益	36	47	103	219%
単体	売上高	2,147	2,362	2,553	108%
	経常利益	64	247	464	188%
	当期利益	30	136	214	157%



DGグループ公開後3カ年の事業推移



2002年6月期セグメント別の動向



(単位:百万円)

	区分	項目	2001年6月	2002年6月	対前期比
ソリューション事業	連結	売上高	2,491	2,600	104%
		売上総利益	1,283	1,225	95%
	単体	売上高	2,184	2,369	108%
		売上総利益	1,144	1,058	92%
PF(プラットフォーム)事業	連結	売上高	177	183	103%
		売上総利益	117	131	112%
	単体	売上高	177	184	104%
		売上総利益	117	133	114%

ソリューション事業

*システム構築事業が伸長(対前期比144%)するものの、マーケティングソリューション(広告事業)が広告不況の影響でマイナス成長。売上対前期比104%を確保したが、売上総利益は微減

*ソリューション販売で後期投入したソリューション  smoothy™ は、今期からの利益貢献を予定

PF(プラットフォーム)事業

*WebNation事業のマイナスをCyberAuction事業でカバーするが、微増に留まる

*(株)カカコムの事業貢献は、今期から。メディアプラットフォーム本部を新設



2003年 6月期の事業計画

新年度の事業推進コンセプト



<全体戦略>

DG単体の利益重視から、DGグループ全体の利益重視の戦略を加速

ソリューション事業

単体 / 小さなDGへとシフト (HQ機能強化)

- ・連結子会社DSインタラクティブ/eコマース総研との連携強化
- ・本社(HQ)がプロデューサーとなって事業システム・モデルの全体最適化を構想する

プラットフォーム事業

連結 / カカクコムをグループのPF(プラットフォーム)ポータル機能へ
Yahoo!、楽天に並ぶ第3勢力として“価格com”をフラッグシップ化

インキュベーション事業

インキュベーション事業 / (DGとの協業フィードバック)
関係会社2社の最終IPO体制づくりと戦略出資会社数社のIPO

HQの求心力

事業体(部)への遠心力

DGグループとしての企業価値の最大化 (グループ経営戦略)



2003年6月期の事業計画



(単位：百万円)

区分	項目	2002年 6月	2003年 6月	対前期比
連結	売上高	2,783	4,200	151%
	営業利益	0	300	30,000%
	経常利益	351	200	57%
	当期利益	103	80	-
単体	売上高	2,553	3,000	118%
	営業利益	17	120	706%
	経常利益	464	110	24%
	当期利益	214	64	30%

連結

(株)カカクコムの子会社化により、売上高および営業利益は大幅に増加。
 但し、当期利益は(株)カカクコムの暖簾代償却費126百万円等により 80百万円を予定。

単体

売上高は対前期比118%を予定。営業利益はグループ内での開発体制の整備により対前期比706%に改善。
 但し、自社内孵化(インキュベーション)事業に関わる償却費等で、当期利益は64百万円を予定。



2003年6月期セグメント別前期比較



context company
(単位：百万円)

区分		2002年6月	2003年6月	対前期比
ソリューション事業	連結	2,600	3,330	128%
	単体	2,369	2,700	114%
PF (プラットフォーム事業)	連結	183	870	475%
	単体	184	300	163%

< 連結ベースでの前期比較 >

ソリューション事業は、単体では対前期比114%で留まるものの、連結ではグループ視点でのシステム構築体制でDSインタラクティブの売上増加等で対前期比128%を予定

プラットフォーム事業

- ・(株)カカコムが連結に寄与、対前期比475%の過去最高の売上を予定。
- ・単体プラットフォーム事業もサイバーオークション関連事業のみで対前期比163%を予定。WebNation事業は事業パートナーと提携の上、別事業体へ(2Qを予定)。

